

グループの旗

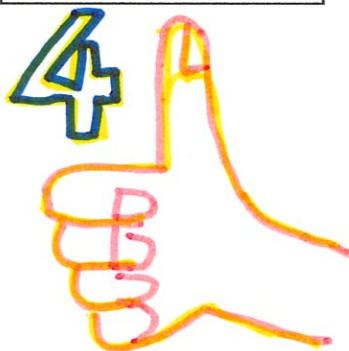
支援者コース:

グループNo : B-2

グループのネーミング

ジェスチャー
41

シンボルマーク



発表資料1

グループ名: B-2

2023年9月26日~27日

チーフアドバイザー

福田 富夫

アドバイザー

鈴木 利哉

メンバーと役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	平岩 範生	愛三工業
2	時間係	石神 一夫	トヨタ
3	書記1	岩出 隆正	トヨタ車体
4	書記2	志垣 正人	東海理化
5	発表者	小池 久紀	デンソー
6	質問者	山田 史雄	トヨタ紡織
7	5S責任者	梅崎 高嗣	愛三工業
8			

グループの決め事

		評価
①	全員が発言する。	○
②	発言を否定しない	○
③	いいね! とほめる。	○
④	アドバイザー-鈴木さんの意見もきく	○
⑤		

(※評価は、○、△、×等で記入する)

支援者としてのあるべき姿の抽出表

グループメンバーが考える支援者のあるべき姿の抽出									あるべき姿を行動形で表現する (〇〇の◆◆を△△する)	グループの選定結果	
No	平岩	岩出	梅崎	小池	志垣	山田	石神			根拠	選んだもの
①	■	■	■	■	■	■	■		方針を伝えてQにサークル活動の方向付けを行う		
②	■	■	■						推進者に対して教育とフォローを行う		
③	■	■	■		■	■	■		Qにサークル活動をするための環境をつくる(時間)	活動する基本であるから	◎
④	■		■	■	■		■		メンバーに対して教育の機会をつくる		
⑤		■	■	■	■	■			Qにサークル活動の努力をたたえほめて、学ぶ	メンバーが主体的に活動できるようにするため	○
⑥		■	■		■	■			自分自身がQにサークル活動をやさしくなる	自分自身が変えられるサークルが変えられる	○
⑦	■	■		■			■		社内外へのPRを行う		
⑧											
⑨											
⑩											

※選定基準 ◎:最重要、○:重要

活動支援マトリックス表

発表資料3

グループ名: B-2

重要 行動ポイント 活動ステップ	1 Qcサークル活動をするための 環境(時間)をつくる	2 Qcサークル活動の努力を たたえ、ほめて、労う	3 自分自身がQcサークル 活動を好きになる
<u>現状の姿</u> ① 会合の時間、場所は確保 できているが、改善時間がとれない ② 全員が集まりにくい ③ 緊急対応が入ると中止になる	・ 会合の時間、場所は確保 できているが、改善時間がとれない ・ 全員が集まりにくい ・ 緊急対応が入ると中止になる	・ 良い改善事例の報告があっても その場の発表で終わっている ・ Qcサークル活動をほめる機会がない ・ 効果だけみている、効果なしという ほめてない ・ Qcでほめられなくても喜ばない 他でほめられたい(個人改善)	・ Qc活動があまり好きでない ・ 自分から積極的に参加したり 行動できていない ・ 発表に向かっているものの、 Qc活動に対する知識が低い
<u>問題点</u> (課題) 2つに絞り込む	① サークルお世話になっている ② 資料作成、改善実施時間が 確保できていない ③ 他の活動との両立ができていない ④ 作業エリアが広範囲 常昼、二直勤務混在	① 結果だけを見ている ② ほめる場を提供できていない ③ ほめる仕組みがない	① 優先度が低い ② 成功体験がない(支援者) ③ Qcサークル特有の良さが 分からない
<u>やるべき事</u> (方策) 絞り込んだ2つの問題点ご とに1つを洗い出す	① 推進者との連携をとる ② 必要な時間を把握して 判断	① 計画を立て、段階的にリアクションを 起こす(評価、賞賛) ② 発表の機会を設定する 課内発表等	② 支援者としての自身のサークル 育成計画を持つ ③ 社内外の勉強会、交流会への 積極参加

グループ討論振りかえり表

発表資料4

グループ名: ジェスチャー41

グループ討論を振りかえり

- ・ 色々な会社のうちとチームになれ。
それぞれの会社でどうQCサークルを
進めてみえるか共有ができた。
- ・ 会社が違っても悩みは最終的には同じで
解決策の話し合いができた。
- ・ 同じ階層での話し合いが貴重な機会が
あった。

今後の行動指針（決意表明）

- ・ QCサークルに目と手をむける事が多かったのが、支援者としての
対応を考え、支援していきたいと思っ。 平岩紀生
- ・ 現状のやりこれている感 → 自主的な活動へ変化
させる為の環境作りを行いたい。 石神 一夫
- ・ QCサークル活動に本気で 向きあう姿勢を
率先垂範 で自分から見せます。 山田史也
- ・ 推進者とのコミュニケーション向上を図り、
活発な意見交換・助言・評価をしていく 石垣正人
- ・ サークルの課題 問題を把握し
推進者と一緒に解決していきます 梅崎高嗣
- ・ サークル活動に積極的に顔をだし
自分自身の意識、行動を変えていく 若出 隆正
- ・ QCサークルに対し今まで以上の熱意で
指導、援助していきます。 小池久紀